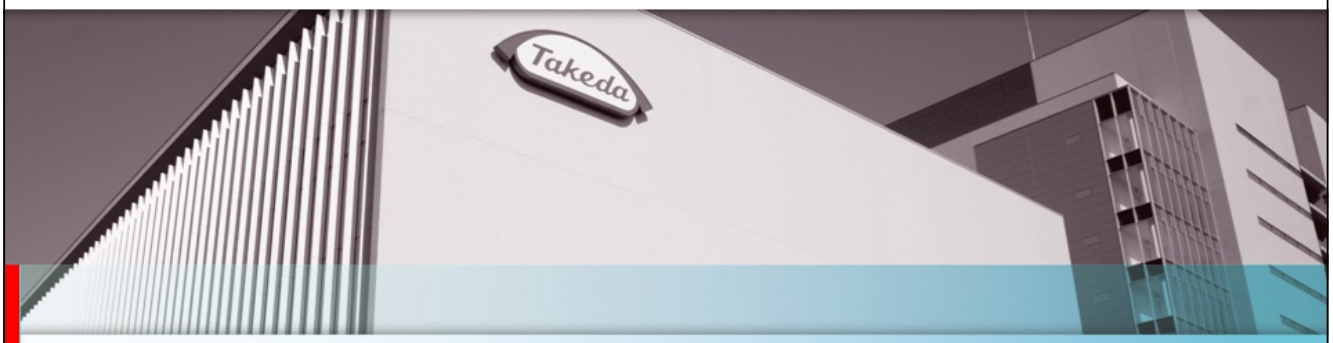


Takeda R&D Strategy

チーフ メディカル＆サイエンティフィック オフィサー
山田 忠孝

ミレニアム･ファーマシューティカルズ　社長兼CEO
デボラ･ダンサイア

2012年5月11日

武田薬品工業株式会社

研究開発の意義

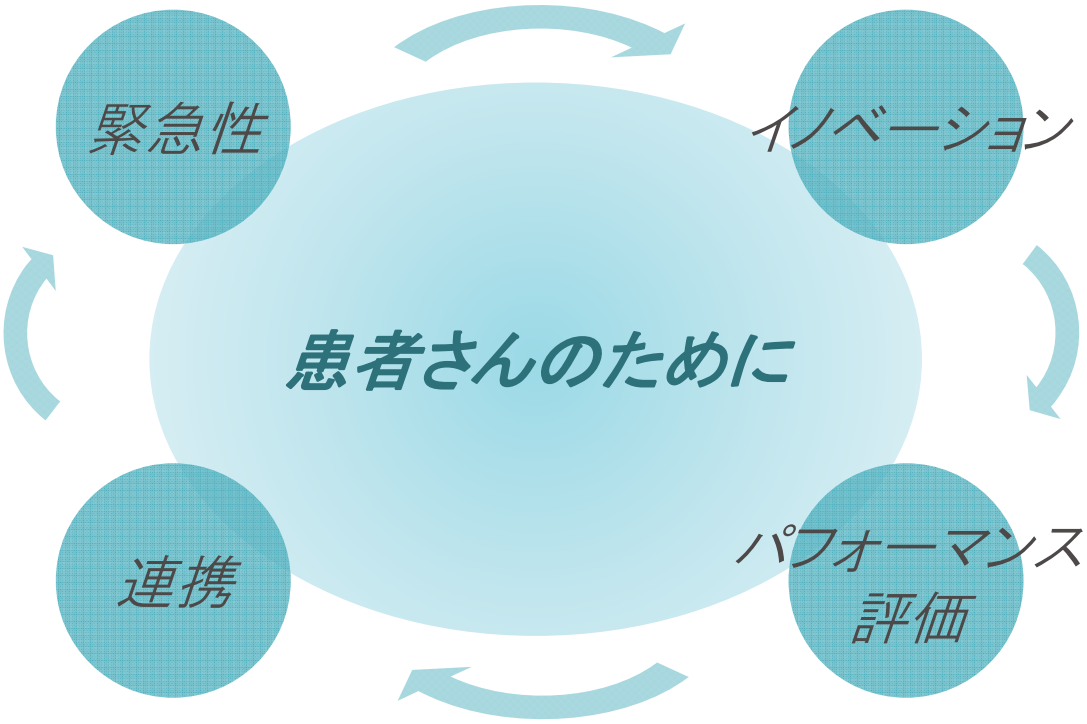
タケダは、患者さんのアンメットメディカルニーズに応えるために、研究開発資源を投入し、革新的な医薬品の創出に挑戦し続けます

研究開発の理念

患者さんのアンメットメディカルニーズに応える医薬品を提供することで、医薬品業界のリーダーとしての使命を果たします

成長の源泉である研究開発組織を変革し、
業界トップレベルの研究開発生産性を目指します

研究開発の行動原則



研究開発の行動原則

緊急性（Urgency）

研究開発の行動原則

イノベーション（Innovation）

New Frontier Science

新規分子化合物			新規ライフサイクルマネジメント
	● TAK-875 ● TAK-438 ● MLN0002	● TAK-375SL ● AD-4833/TOMM40	

Drug Discovery Unit
CMC研究センター

パフォーマンス評価（Measurement）

POC&C
コンセプト

新たな価値の創造

POC&C: Proof of Concept & Competitiveness

なぜPOC&Cに着目するのか？

- 製品価値を表す有効な代替指標
- 創出された価値を近似的に測定可能
- 予想ピーク販売額を重視した評価
- 将来の全社業績の予測に効果的な手法
- TAユニットの業績目標として活用

研究開発の行動原則

連携（Partnership）

タケダ	武田カリフォルニア (旧シリックス)	ミレニアム	ナイコメッド	導入品
TAK-875	SYR-322	MLN0002	DAXAS	Peginesatide
TAK-438	SYR-472	MLN9708	Teduglutide	Lu AA21004
TAK-700		MLN8237	MT203	Lurasidone
			Veltuzumab	Contrave
				SGN- 35

*主な化合物のみ記載

開発パイプライン

6つの重点領域

- 代謝性･循環器系疾患
- 呼吸器･免疫系疾患
- 中枢神経系疾患
- 消化器･泌尿生殖器系疾患
- ワクチン
- 癌